LOVE
就農!!
AND
ビジタル化!!!
半端ねえって
BEEF
飛騨牛!!
HIDA
HIDA-CITY
LOVE
AND
BEEF
HIDA
CATTLE STATION

農業に携わるのは、そんなにハードル高くないですよ

interview **02**

蒲生 源太郎 さん

Gentaro Gamou

HIDA-CITY LOVE AND BEEF HIDA CATTLE STATION

なぜ農家の道を選んだのですか？

父が養牛場の社長なので、小さいころから牛になじみはありました。高校３年生のときに１年アルバイトをさせてもらって、それで改めて仕事としてやってみようかなって。都会に出たりする道もあったんでしょうけど…ホストとか（笑）でも、ほかの仕事はあまり考えませんでした。

「表紙、かっこいいでしょ！うちの従業員…と思いきや、地元の友達です！wノリの良さが最高です！」（蒲生さん）

飛騨市に就農してみて思うことは？

同じ仕事でも、バイトでやるのとは全然ちがいましたね。牛の体調や衛生管理への責任感も出てきますし、自分が全面的に世話する牛を任されたりして。一番のやりがいは、やっぱり世話をした牛が評価してもらえる瞬間ですね。牛って手をかければかけただけ肉質や見た目が良くなっていくので、自分がこだわったところが、ちゃんと評価として返ってくるっていうのがこの仕事の気持ちいいところだと思います。

今就農を考えている人へ、メッセージをお願いします。

デジタル化や効率化が進んで、ぼくが子どもの頃よりも仕事はラクになってきているように感じますね。30年前だったら、正直この仕事に就いていたかわからないです（笑）若い人が農業っていうと不安も多いと思うんですけど、ここは同業者同士のつながりがあって、仲間同士で交流したり情報交換ができるので心強いですよ。飛騨ならではのローカル感というか、田舎っぽい温かさがぼくは逆に好きですね。でも、ひとりになりたいときは黙々と仕事をすることもできるし、そういう人とのちょうどいい距離感があるのもこの仕事の特徴かな。人間関係でムリしない働き方ができる環境を探している人には、けっこういい職場だと思います。

HIDA-CITY LOVE AND BEEF HIDA CATTLE STATION

interview 01

森田 大尊さん
Taison Morita

清水 文野さん
Ayano Shimizu

「子牛ちゃんです！可愛いでしょ！w」（清水さん）
「ついつい餌あげちゃうんですよねw」（森田さん）

なぜ農家の道を選んだのですか？

森田さん：父が牛飼いで、子どもの頃から牛になじみがあったので、その流れで自然にこの仕事を選んでいましたね。

清水さん：高校で将来を考えているときに牛の品評会を経験したのが大きいです。牛を引く役割を任されたのですが、会の最中牛がすごくいい子にしていてくれて…ちょっとしたことですが、それをきっかけに農業をしてみたいと思うようになりました。

飛騨市に就農してみて思うことは？

森田さん：力仕事が多いので体力的には大変なときもあります。でも、自分なりにがんばったことや行動したことが、牛の状態に反映されてちゃんと返ってきてくれるっていうのが何よりうれしいです。

清水さん：朝に牛舎で仕事をしていると、仔牛が「遊んで」って寄ってくるのがかわいいですね。生きものなので病気など心配なこともありますが、その分元気に育ってくれるとほっとします。

今就農を考えている人へ、メッセージをお願いします。

森田さん：前職では「ぼくが押したこのハンコは何の役に立つんだろう？」とか、悩むことがけっこうありました。今は動いた分だけ得られるものがはっきりしているので、自分の仕事の意義を実感できるようになりました。体力が必要なのでその意味での大変さはありますが、座っているよりも、体を動かした方がしっくりくる人にとっては、農業はいい働き方だと思います。

清水さん：牛の様子を気にするようになったおかげか、いつの間にか友達や家族の些細な変化にも気がつけるようになりました。日が昇ったら起きて、沈んだら休む。基本的には自然のサイクルに沿った生活ができます。今は色んな働き方があるので、そういう自然な営みの中での仕事や生き方に魅力を感じる人は、農業を選択肢として考えてみるのもいいのかなと思います。

就農への3ステップ

LOVE AND BEEF

1 知る

情報収集

飛騨市、飛騨農協、岐阜県の HP などで検索したり、就農相談会に参加して情報を集めましょう。

飛騨市でお手伝いできること

視察にいらっしゃる方に、下記事業部の活用が可能です。

ぎふ就農体感ツアー	1泊 2日 9,800円 の助成
ぎふ中期農業体験ツアー	2泊以上 30泊まで 1泊につき 4,000円 の助成

※この事業の活用には、一定の条件を満たし、実施主体である「ぎふアグリチャレンジ支援センター」の承認が必要です。

見学・体験

「現地視察」「就農体験」を開催しています。視察は農林高校・大学をはじめ、ビジネス経営や工学、普通校ほか、学生や社会人、**牛に興味のあるすべての方**の受入れが可能です。

就農後のイメージを描く

・収入　・助成　・IoT の恩恵　など

2 学ぶ！活かす！

飛騨牛の子牛生産に必要な知識・技術を習得しましょう。
「家畜導入～人工授精～分娩・哺育育成～出荷」までを学び、技術取得を目指します。

飛騨牛生産の流れ → 家畜導入 → 人工授精 → 分娩・哺育育成 → 出荷

主な研修内容としては…

飼養管理	繁殖用の雌牛管理、子牛管理、衛生管理（糞尿処理技術）
経営管理	経営計画、簿記、税制申告、各種助成事業に関する知識
和牛育種	牛の改良・増殖技術、和牛登録（子牛・母牛）、家畜審査（共進会）
牧場実習	飛騨地域の様々な規模の農場での実習

牛の管理・育成ができるようになるだけではありません！農場を運営する上で避けて通ることのできない農場の運営や行政への手続きのしかたまで、プロの畜産家になるために必要な幅広い知識を身につけることが可能です。また、AI や IoT を駆使した最先端の畜産技術にも精通していただくことができます。

【取得できる資格・サポート制度】

畜産業に必要な資格の取得を、技術面・資金面で全面サポートします！特に、各種免許取得にかかる費用助成には力を入れているので、他県には類を見ない手厚い補償を受けながらプロを目指すことが可能です。

①人工授精師免許（全額助成！）
- 免許取得に必要な講習費、テキスト代
- 講習に必要な宿代、交通費
- 免許取得後、人工授精道具の購入費

②削蹄師資格（全額助成！）
- 削蹄講習会に必要な費用
- 資格取得後に削蹄道具一式代助成

③大型特殊免許（全額助成！）
- 免許取得に必要な入学金、講習費、テキスト代

※その他、各種研修に必要な消耗品（長靴、防護服等）に関しても支援します。

飛騨市でお手伝いできること

免許取得～就農まで、飛騨地域全体でも全力で新規就農者を応援します！

飛騨地域新規就農者育成協議会／
飛騨市農業支援協議会／
飛騨市農業委員会／就農支援部会／
就農専門委員会など

3 就農

資格を取得した後は、どのような就農形態が合っているのかを一緒に探しましょう！ 就農先の紹介や就農後の独立支援も行います。

▼ **就農までの流れ**　研修2年目（後半）飛騨地域内の繁殖農家で現場研修を行います。

2年間の研修後	**飛騨地域内の牧場への就農を斡旋します。**
数年間の就農後	**独立就農を目指す方を支援します。**

畜産農家として独立をするのは金銭面・技術面などでの心配があるかと思いますが、本研修所では、将来的に自分の農場を持ちたい方を応援する制度も整っています。

飛騨市でお手伝いできること

就農する際の飛騨市への移住にも、手厚いサポートがあります！

- 引越し費補助：補助率 1／2　上限 5 万円　など
- 住居費補助：月 2 万円　最高 3 年間
- 住宅新築・購入支援助成金：飛騨市に住宅を取得する方に最大 180 万円の助成
- 移住者への米贈呈事業：転入 3 年目までに住宅を取得した方、米 60kg10 年間支援

その他にも、ペーパードライバー講習費の補助、除雪用具／スタッドレスタイヤ購入費の補助など、飛騨での生活を支える制度が充実しています。詳しくは飛騨市の HP でご確認ください。

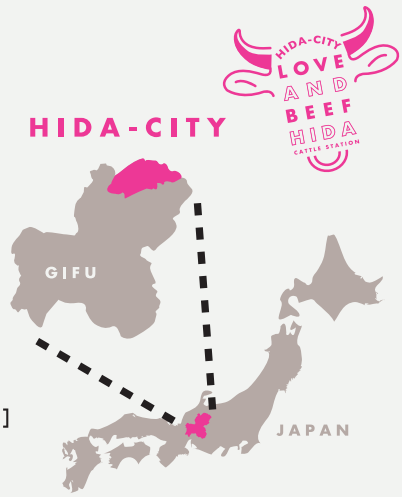
information

▼応募・問合せ先

飛騨市農業支援協議会

〒509-4292
岐阜県飛騨市古川町本町２番22号
飛騨市役所　農林部　畜産振興課内

tel: 0577-73-0152
mail: chikusan@city.hida.lg.jp



▶ 株式会社ひだキャトルステーション ── 〒506-1100 岐阜県飛騨市古川町中野250番地9　［ 研修施設・場所 ］
▶ 飛騨農協 畜産部畜産課 ──── 〒506-0001 岐阜県高山市冬頭町15-1　TEL：0577-36-2877

発行元：飛騨市農林部畜産振興課